

各教科等における道徳教育と道徳の時間の充実

広島大学大学院教育学研究科 准教授 朝倉 淳

1 はじめに

2 学校における道徳教育の特性は何でしょうか?

3 各教科等における道徳教育とは何をどうすることでしょうか?

4 道徳の時間をどのように充実させればよいでしょうか?

表 発問を核として山場をどうつくるか

(朝倉, 2008)

	発問前	中心的な発問	発問後		次の段階へ
教師	発問 A を成立させるために必要なことを押さえる。	発問 A をする。 個人思考の場を設定し時間を確保する。	発言をつなげながら、板書をする。	板書等を用いて質問を促す。 板書等を用いて分類等を促す。 ゆさぶり・きりかえし(発問 B)をする。	次の発問や指示・説明をする。
児童 生徒	問題場面の鮮明なイメージ	発問の理解と個人思考	集団思考による拡大	集団思考による深化	適用・援用による一般化等

※ ゆさぶり・きりかえしの手法例

当然と思っていることを訊く

先の予想を訊く

条件を変えるとどうなるかを訊く

役割・立場を変えるとどうなるかを訊く

例 ○○○○することは本当によいことでしょうか。

例 ○○○○すると(しないと)どうなるでしょうか。

例 いつでもそうなりますか。

もし○○が○○の場合はどうなるでしょうか。

例 もし○○が○○だったら、どんな気持ちでしょうか。

5 おわりに